



外 山 滋 氏

1935年東京に生れ、12才の時よりモギレフスキーに就き師の逝去迄6年間師事す。

1953年、6月第1回リサイタルを第一生命ホールに開催す。

1954年、N響コンサートマスター研究員として入団。パウル・クリングより独奏、合奏、室内楽等につき指導を受け、N響室内楽団の主要メンバーとして活躍す。

1956年、3月N響第一コンサートマスターに就任、在団中エツシュ、バッハーロー、ゼンストック、ロイブナー等の指揮で多くの協奏曲を協演す。

1957年、12月N響を退団、日フィル、東響、東フィル等との協演をはじめ、活発な独奏活動が続けている。



池 本 純 子 さん

神戸に生る。鳥取県立根雨高校を卒えて、1951年東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科卒業。

1953年同校研究修了、井口愛子、野辺地勝久、安川加寿子の諸氏に師事。

1955年、5月東京ヤマハホール、57年6月東京第一生命ホールにおいてそれぞれリサイタルを開催。

ショパン、シューマン等のロマン派作品やフランス近代曲を得意とし、合奏、伴奏にも卓越している。外山滋氏との演奏会は3年間以上ほとんどコンビでやっている。